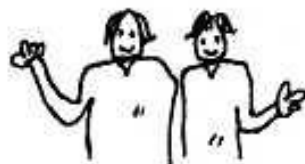


みんなの広場



* * 「あなたはヤバイ」 * *

「あなたはヤバイ」って学習者に言われたことがありますか？きっと腹を立てるでしょう。彼は「私の話したいことが分かってもらえないようだ」という意味で使ったらしいのですが、あやうく喧嘩になるどころでした。学習者が、なんでそういう間違いをするのか、どなたか教えていただけませんか。

(土曜夜・台町)

—— 言葉には、時と場合によって使ってよい言葉と悪い言葉があります。世界を見てもある仲間同士でしか使えない言葉があります。「ヤバイ」という言葉も最近では若者の間で使われる様になりましたが、本来は虞犯者の言葉でした。今の若者は「それヤバくない？」と言うのを「それおかしくない？」程度の意味で使っています。学習者がそういう言葉を使うのは日本人のそういう言葉を使う人と生活圏を共にしているということで、日本語を上達する環境としては良いのかもしれませんが、一つ一つの言葉の誤用にはあまり神経質にならずに、その都度注意して正しい言葉使いを教えるのが外国語教育でしょう。(安岡 襄)

* * 「ついに」と「とうとう」の違いについて * *

まずは次の例文を見てください。

a: 何度も国家試験を受けた末に、ついに合格した。

b: 何度も国家試験を受けた末に、とうとう合格した。

aでは「ついに」を、bでは「とうとう」を使った文です。どう違うのでしょうか。

この「ついに」と「とうとう」は、「ある過程(時間とか努力)を経て、終局において決定的な事態が成立したことに對して用いられる」ことでは同じです。しかし、その事態成立に對する話し手のとらえ方において、それぞれ違いが見られると説明されています。

「ついに」は、途中の経過よりも起こった出来事の方に重点を置いた表現で、上記の例文aでは、「合格した」という結果に重点が置かれているのです。

「とうとう」は、結果に至るまでの出来事や歳月に対しての感慨が入った表現で、上記の例文bでは、「大変な努力と時間がかかった」という途中の経過の方に、重点を置いた表現なのです。両者の違いを次の例文で確認してみましょう。

(1) 5万円、10万円と借りていくうちに、借金は(△ついに/○とうとう)300万近くになってしまった。

(2) 待ちに待ったワールドカップが(○ついに/△とうとう)始まった。

(明官 富久雄)

[参考文献] 『類似表現の使い分けと指導法』、『日本語表現ハンドブック シリーズ⑧』アルク、『日本語文型辞典』くろしお出版

* * 「～する事(こと)」の意味と教え方 * *

何回か質問されて分からなくて困っている事ですが、「～(する)事が(は、を、の・・)」の「事」は、どのような時に使ったらよいのでしょうか？ また、どのように教えていますか？

(台町土曜夜・)

——「あなたの趣味は何ですか」と聞かれて、「音楽が趣味です」と答えたとしましょう。でも、これでは「音楽を聞くこと」なのか「楽器を演奏すること」なのか、あるいは両方なのか分かりません。そこで、この「音楽」だけでは言いたいことが伝わらないために、通常の会話では、次のように言い換えることもあるでしょう。

例えば、「音楽を聞くことが趣味です」「音楽を演奏することが趣味です」等々。つまり、「音楽を聞く」「音楽を演奏する」といった文を入れることによって、冒頭の例文「音楽が趣味です」の内容を、より詳細にできるわけです。ただし、これらの文のままでは次に来る助詞「が」につながらないので、この文を名詞にする必要があります。「こと」が、この名詞化の機能を果たしているのです。

しかし、ここでの「こと」は、辞書的意味は持たないので「形式名詞」「dummy noun」と言われています。表示は漢字ではなく、平仮名で書きます。

実際には学習者に対しては、例えば「私の趣味はテニスです」等の例文を示して、「テニス」の部分に線を引き、この部分は「名詞」であることを注意させておきます。

それから、「テニスをします」「テニスを見ます」等の文を、この名詞部分に入れて、以下の二点を条件として説明します。

- ① 述部は辞書形にする。 ② 文を名詞にするために「こと」をつける。

また、この「こと」を使った機能語(～ことにする、～ことになる、～ことによる等)は、該当する例文で、その違いから意味を擲んでもらうしかないようです。要は、出来るだけ多くの例文を示して説明するのが、指導のポイントだと思います。 (明官富久雄)

参考文献 『文法の基礎知識とその教え方』 凡人社

『日本語文法学習者によくわかる教え方』 アルク

『どんな時どう使う日本語表現文型 500』 アルク

